

令和7年度 静岡市健康福祉審議会 第1回高齢者保健福祉専門分科会

次第

日時：令和7年10月23日（木）

午後7時15分から9時00分まで

会場：城東保健福祉センター 3階 第1・2研修室

- 1 開会
- 2 事務局あいさつ
- 3 高齢者保健福祉専門分科会会長あいさつ
- 4 協議事項
 - (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について（資料1、2、3）
 - (2) 静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画（高齢者保健福祉計画）の成果指標について（資料4、5）
- 5 閉会

令和7年度 高齢者保健福祉専門分科会 名簿

No.	区 分	氏 名	所 属	職 名
1	専門委員	いけたに ゆうすけ 池谷 雄介	静岡市社会福祉協議会	地域福祉推進課長
2	専門委員	おおいし ゆうや 大石 裕也	静岡県作業療法士会	理事
3	委員	かじやま か おり 梶山 香緒利	市民委員	—
4	委員	かのう なおこ 狩野 直子	市民委員	—
5	委員	くぼ た あきら 久保田 明	市民委員	—
6	専門委員	くろさわ ゆきお 黒澤 幸夫	静岡市民生委員児童委員協議会	副会長
7	専門委員	さかべ まさお 阪部 優夫	静岡市清水医師会	理事
8	専門委員	さるた しんじ 猿田 真嗣	常葉大学 教育学部	教授
9	委員	すずき さかえ 鈴木 榮	静岡市老人クラブ連合会	会長
10	専門委員	すみくら まさかず 隅倉 正員	静岡市自治会連合会	副会長
11	専門委員	ひがしの さだのり 東野 定律	静岡県立大学 経営情報学部	教授
12	専門委員	ふくだ ともかず 福田 智一	静岡県社会福祉士会	理事
13	専門委員	ふくち あきお 福地 明雄	駿河区地区社会福祉協議会連絡会	会長
14	専門委員	まつざき みちこ 松崎 倫子	静岡市静岡歯科医師会	副会長
15	専門委員	みずたに のぶひで 水谷 暢秀	静岡市静岡医師会	副会長

(五十音順 敬称略)

高齢者保健福祉専門分科会会長

静岡市健康福祉審議会

第1回高齢者保健福祉専門分科会 会議資料

- 資 料 1 調査概要
- 資 料 2 令和7年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査項目(案)
- 資 料 3 調査項目(案)に対する委員からの意見一覧(ニーズ調査)
- 資 料 4 静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画
(高齢者保健福祉計画)の成果指標について
- 資 料 5 「静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」の
掲載事業一覧(高齢者福祉課所管事業のみを抜粋)
- 参 考 資 料 静岡市の高齢者数

(資料 1)

各調査の概要

計画	高齢者保健福祉計画	介護保険事業計画	
実態調査名	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護調査	
担当課	高齢者福祉課	介護保険課	
調査期間	令和 7 年 11 月下旬から 12 月下旬までを予定	令和 7 年 11 月下旬から 12 月下旬までを予定	
目的	高齢者に関する、生活実態、健康状態及び保健福祉に係るサービス等の状況を把握	高齢者等に関する、介護保険に係るサービス等の状況及び意向等を把握	
対象	静岡市内在住の 65 歳以上の方 (要介護 1 ～ 5 の方を除く) 10,000 人	静岡市内在住の要介護認定を受けている方(施設入所者・居宅系サービス利用者を除く)及びその介護者 2,000 人	
抽出方法	日常生活圏域ごとに一定人数を無作為抽出	日常生活圏域ごとに一定人数を無作為抽出	
調査項目	参考：前回(令和 4 年度)の実績 国必須項目 42 問 国オプション項目 21 問 県独自項目 9 問 市独自項目 31 問 計 103 問	本人向け	主な介護者向け
		参考：前回(令和 4 年度)の実績 国必須項目 5 問 国オプション項目 5 問 県独自項目 0 問 市独自項目 16 問 計 26 問	参考：前回(令和 4 年度)の実績 国必須項目 6 問 国オプション項目 3 問 県独自項目 0 問 市独自項目 8 問 計 17 問
前回の回収状況	配布数 10,000 通 回収数 6,660 通 回収率 66.6 % 有効回収数 6,604 通 有効回収率 66,0 %	配布数 2,000 通 回収数 1,122 通 回収率 56.1 % 有効回収数 1,007 通 有効回収率 50.4 %	

分野	R7				設問			事務局の検討結果	検討内容
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）		
				○	F1		あて名のご本人の方が何らかの事情により、回答できない場合は、その理由を教えてください 1. 長期入院中 2. 転居 3. その他（理由： ）	R4のとおり	基本項目
							あなた（あて名のご本人）の住所をご記入ください(番地は不要です。).	削除	回答票に連番を振り、標本名簿から属性を特定できるようにするため削除。
							このアンケートが入っていた封筒のお名前の下に書かれている【圏域番号】をご記入ください。	削除	回答票に連番を振り、標本名簿から属性を特定できるようにするため削除。
1. ご本人について							あなたの性別を選んでください。 1. 男性 2. 女性	削除	回答票に連番を振り、標本名簿から属性を特定できるようにするため削除。
							あなたの年齢を記入してください（※令和7年11月1日時点） 歳	削除	回答票に連番を振り、標本名簿から属性を特定できるようにするため削除。
							現在の要支援認定の状況（要支援度）について教えてください。（○は1つ） 1. 要支援認定は受けていない 2. 要支援1 3. 要支援	削除	回答票に連番を振り、標本名簿から属性を特定できるようにするため削除。
2. ご家族や生活状況について	○		○		問1		家族構成をお教えてください（○は1つ） 1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし（配偶者やパートナー（内縁を含む）65歳以上） 3. 夫婦2人暮らし（配偶者やパートナー（内縁を含む）64歳以下） 4. 息子・娘との2世帯 5. その他	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記
	○		○		問2		あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は1つ） 1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）	原案のとおり	
		○			問2-1		【問2において「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（○はいくつでも）。 1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 2. 心臓病 3. がん（悪性新生物） 4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎・気管支炎等） 5. 関節の病気（リウマチ等） 6. 認知症（アルツハイマー病等） 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患（透析含む） 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他（ ） 15. 不明	原案から修正	・選択肢9の「腎疾患（透析）」を「腎疾患（透析含む）」へ修正。 →腎疾患＝透析のような誤解を生じないようにするため。 ・問61の選択肢と同じ病気（疾患）を示す場合は、表現を同一に修正。 →回答者にとって、設問ごとに病気（疾患）の呼び方が異なるとわかりにくいため。
				○	問2-2		【問2において「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の方のみ】 現在、介護・介助を受けていない理由は何ですか（○はいくつでも）。 1. 検討しているところである 2. これから検討しようとしている 3. どのようなサービスがあるのか知らない 4. どこに相談すればよいのかわからない 5. 費用負担が心配 6. 介護・介助をする人に、家の中へ入られたくない 7. その他（ ）	R4のとおり	介護・介助が必要な人がそれを受けていない理由を把握するため、追加する。
		○			問2-3		【問2において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】 主にどなたの介護、介助を受けていますか（○はいくつでも）。 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者や子のパートナー（内縁を含む） 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他（ ）	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記

分野	R7				設問		事務局の検討結果	検討内容
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問		
						取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	
	○		○		問3	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つ） 1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある	原案のとおり	
		○			問4	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○は1つ） 1. 持家（一戸建て） 2. 持家（集合住宅） 3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） 6. 借家 7. その他	原案のとおり	
				○	問5	現在のお住まいについて何か困っていることはありますか。（○はいくつでも） 1. 住宅が広い 2. 住宅が狭い 3. 建物や設備が老朽化している 4. 住宅に係る諸経費（※）が高い 5. 設備がバリアフリー化されていない（段差がある・手すりがない・トイレや浴室が使いにくい） 6. 家の維持管理が大変（庭の手入れなど） 7. その他（ ） 8. 特にない ※購入費・維持費・賃金等	R4から修正	生活するうえで必要不可欠な「住まい」に対する価値観やニーズの変化について把握することで、医療・介護サービス等を受けながらも安心して生活できる住まいの確保を目指すため。 委員の意見を受け、選択肢6を追加しました。
				○	問6	お住まいの周辺環境について何か困っていることはありますか。（○はいくつでも） 1. 交通などの立地が悪い 2. 買い物が不便（スーパーが遠いなど） 3. 暮らしに必要な施設が遠い（病院、福祉施設、銀行など） 4. 公園や緑地が少ない 5. その他（ ） 6. 特にない	追加	生活するうえで必要不可欠な「住まい」に対する価値観やニーズの変化について把握することで、医療・介護サービス等を受けながらも安心して生活できる住まいの確保を目指すため。 委員の意見を受け、選択肢3を追加しました。
				○	問7	熱中症対策にエアコンの利用が有効であることを知っていますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	追加	静岡市は今夏、全国2位の気温を記録するなど猛暑の夏であった。その中でリスクが高まるのは、高齢者の熱中症である（熱中症搬送者の半数以上が65歳以上）。リスク低下には、エアコンの利用が効果的であるため（65歳以上搬送者のうち、約6割が住宅での発生）、今後の熱中症対策施策の検討のため、調査項目を追加する。
				○	問8	お住まいの住宅にエアコンが設置されており、適宜利用していますか。（○は1つ） 1. 設置されており、適宜利用している 2. 設置されてはいるが、利用はしていない 3. 設置されていない	追加	上同
				○	問8-1	【問8で「2. 設置されてはいるが、利用はしていない」または「3. 設置されていない」の方のみ】 エアコンが設置されているが利用していない理由、もしくはエアコンが設置されていない理由は次のどれですか。（○はいくつでも） 1. エアコンの風や温度が体に合わない 2. 経済的負担となる 3. 環境への配慮 4. 必要を感じない 5. 同居人が使用しない 6. その他（ ）	追加	上同 委員の意見を受け、選択肢1、5を追加しました。

分野	R7				設問		事務局の検討結果	検討内容
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問		
						取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	
3. からだを動かすことについて	○		○		問9	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問10	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問11	15分位続けて歩いていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問12	過去1年間に転んだ経験がありますか。（○は1つ） 1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	原案のとおり	
	○		○		問13	転倒に対する不安は大きいですか。（○は1つ） 1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	原案のとおり	
	○		○		問14	週に何回、外出していますか。（○は1つ） 1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	原案から修正	元の質問「週に1回以上外出しているか」を「週に何回、外出していますか」に変更 「週に1回以上外出しているか」の回答は、「はい」か「いいえ」になるので、4つの選択肢に対応する設問とするには「週に何回外出するか」を問うのが最適と考え、修正した。
	○		○		問15	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は1つ） 1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない	原案のとおり	
		○			問15-1	【問15で「1. とても減っている」または「2. 減っている」の方のみ】 外出が減っている理由は、次のどれですか（○はいくつでも）。 1. 病気 2. 障害（脳卒中の後遺症など） 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配（失禁など） 5. 耳の障害（聞こえの問題など） 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. 異常な暑さのため（熱中症が不安） 11. 感染症予防のため 12. その他（ ）	R4から修正	委員の意見を受け、選択肢10、11を追加しました。
				○	問16	外出する場合、外出の目的はなんですか。（○はいくつでも） 1. 散歩や買物、外食 2. 仕事（農作業なども含む） 3. 通院 4. 子・孫・友人・知人と会う 5. 地域活動（自治会、町内会、ボランティア等） 6. 学習活動（公民館やカルチャースクール等での教養・学習活動） 7. 旅行 8. その他（ ）	R4のとおり	外出についての実態を把握し、介護予防やフレイル予防（社会参加促進）等に係る市民啓発での活用を見込むため
		○			問17	外出する際の移動手段は何ですか。（○はいくつでも） 1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車（自分で運転） 5. 自動車（人に乗せてもらう） 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす（カート） 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他（ ）	原案のとおり	

分野	R7				設問			事務局の検討結果	検討内容
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）		
4. 食べることに ついて	○		○		問18		身長・体重を教えてください。（数字を記入してください。） 身長 cm 体重 kg	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	
	○		○		問19		半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問20		お茶や汁物等でむせることがありますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問21		口の渇きが気になりますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問22		歯みがき（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画～はつらっスマイルプラン～において「歯みがき」と記載をしているため、「歯磨き」を「歯みがき」に修正する。（R4のとおり）
	○		○		問23		歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（○は1つ） ※（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です） 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	原案のとおり	
		○				問23-1	【問23で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問24		噛み合わせは良いですか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
	○		○		問25		どなたかと食事をともにする機会はありますか。（○は1つ） 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	原案のとおり	
5. 毎日の生活に ついて	○		○		問26		物忘れが多いと感じますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
							今日が何月何日かわからない時がありますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	削除	認知機能の低下を問う設問であるが、問26の設問で代替可能である と考えるため、削除。
	○		○		問27		バスや電車を使って1人で外出していますか。（自家用車でも可）（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問28		自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問29		自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問30		自分で請求書の支払いをしていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
	○		○		問31		自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は1つ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	原案のとおり	
		○			問32		年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問33		新聞を読んでいますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問34		健康についての記事や番組に関心がありますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
							家族や友人の相談にのっていますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	削除	他者との関わりについて問う設問であるが、問35で代替可能である と考える。また、問47から相談を受ける相手の有無・その種別を把握できるため、削除。
		○			問35		若い人に自分から話しかけることがありますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
		○			問36		趣味はありますか。（○は1つ） 1. 趣味あり → 具体的に（ ） 2. 思いつかない	原案のとおり	
		○			問37		生きがいがありますか。（○は1つ） 1. 生きがいあり → 具体的に（ ） 2. 思いつかない	原案のとおり	

分野	R7				設問		事務局の検討結果	検討内容
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問		
			○		問38	あなたが生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのはどのような時ですか。(○はいくつでも) 1. 仕事をしているとき(農作業なども含む) 2. 教養を身につけること(学習)をしているとき 3. 健康づくりやスポーツをしているとき 4. 家族との団らんするとき 5. 友人や知人と過ごすとき 6. シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき 7. 地域活動(自治会、町内会、ボランティア等)に参加しているとき 8. 旅行に行っているとき 9. 散歩や買物をしているとき 10. テレビを見たり、ラジオを聞いているとき 11. パソコン、インターネットをしているとき 12. 他人から感謝されたとき 13. 収入があったとき 14. おいしいものを食べているとき 15. 若い世代と交流しているとき 16. その他() 17. 特にない	原案のとおり 原案から修正 原案から修正(R4のとおり) R4のとおり R4から修正 追加 削除	
				○	問39	日常生活に関する情報を得るために、最も利用する媒体はなんですか。(○は1つ) 1. パソコン 2. スマートフォン 3. 家族、友人、隣人 4. 新聞(タウン紙を含む)、雑誌 5. チラシ、折込、ダイレクトメール等 6. テレビ、ラジオ 7. 市の広報・回覧板 8. 特にない 9. その他()	R4のとおり	情報源を把握し、市民啓発事業等への活用を見込むため。最も利用する媒体を1つ選択させることで、その媒体にアプローチした効果的な情報発信が可能になる。
				○	問39-1	【問39で「3. 家族、友人、隣人」から「8. 特にない」までの方のみ】 パソコンやスマートフォンなどのデジタル機器を利用する上で、障害となっていることはなんですか。パソコンやスマートフォンを持っていない方は、その理由はなんですか。(○はいくつでも) 1. 操作方法がわからない・新しい操作手順を覚えにくい 2. 犯罪に巻き込まれる可能性が高まる(個人情報の流出・ネット詐欺) 3. 身体機能の低下(タッチ操作やキーボード入力が難しい・小さな文字が見づらい) 4. 経済的負担となる(端末代・通信費) 5. 家族に反対されている 6. 必要性を感じない(今までなくても生活できた) 7. その他()	追加	手続きのオンライン化などDXの普及が進むなか、更なる普及のために、デジタル機器を扱う上での課題を把握する。
				○	問40	要介護状態等となることの予防や要介護状態等の軽減または悪化の防止のために取り組みたいと思うものに○を付けてください(○は3つまで)。 1. 生活習慣病予防などの健康づくり(しずおか「カラダにeat75」事業など) 2. 転倒予防等の筋力向上のための運動(しぞ〜かでん伝体操など) 3. 食生活や栄養改善(元気で長生き栄養講座など) 4. 歯や口の健康(歯っぴー☆スマイル体操など) 5. デイサービスなどの施設に通う(介護予防デイサービスなど) 6. 地域の人たちとの交流(S型デイサービスなど) 7. フレイル(※)予防(フレイルチェックなど) 8. その他() ※加齢に伴い身体や精神・心理面に様々な低下現象がみられる状態	R4のとおり	介護予防に係る意識を把握することにより、市の施策につなげるため

分野	R7				設問		事務局の検討結果	検討内容
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問		
						取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	
6. 地域での活動について					問41	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ※① - ⑧に、それぞれ当てはまる番号に○をつけて回答してください 1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
	○		○			① ボランティアのグループ	原案のとおり	
	○		○			② スポーツ関係のグループやクラブ	原案のとおり	
	○		○			③ 趣味関係のグループ	原案のとおり	
	○		○			④ 学習・教養サークル	原案のとおり	
	○		○			⑤ （S型デイサービスなど）介護予防のための通いの場	原案のとおり	
	○		○			⑥ シニアクラブ・老人クラブ	原案のとおり	
	○		○			⑦ 町内会・自治会	原案のとおり	
	○		○			⑧ 収入のある仕事	原案のとおり	
	○		○		問42	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○は1つ） 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している	原案のとおり	
	○		○		問43	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ） 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している	原案のとおり	
			○		問44	今後やってみたいと思うものは何ですか（○はいくつでも）。 1. 働くこと 2. 学習や教養を高めるための活動 3. 健康づくりやスポーツ 4. 趣味の活動 5. シニアクラブ・老人クラブ活動 6. 社会奉仕活動（ボランティア・高齢者の生活支援など） 7. 町内会、自治会の活動 8. その他（ ） 9. 特にない	原案のとおり	
7. 就労について		○			問45	現在のあなたの就労状態はどれですか。（○はいくつでも） 1. 職に就いたことがない 2. 引退した 3. 常勤（フルタイム） 4. 非常勤（パート・アルバイト等） 5. 自営業 6. 求職中 7. その他	追加	国の調査項目追加に伴い、追加
		○			問45-1	【問45で「2. 引退した」の方のみ】 あなたはいつ引退しましたか。（数字を記入してください。） 1. 昭和____年 2. 平成____年 3. 令和____年	追加	国の調査項目追加に伴い、追加
				○	問45-2	【問45で「3. 常勤（フルタイム）」または「4. 非常勤（パート・アルバイト等）」または「5. 自営業」または「6. 求職中」の方のみ】 何歳ころまで働きたいですか。（○は1つ） 1. 70歳 2. 75歳 3. 80歳 4. 働ける限りずっと	R4のとおり	就労に関する実態を把握し、就労促進施策等への活用を見込むため。
				○	問45-3	【問45で「4. 非常勤（パート・アルバイト等）」または「5. 自営業」の方のみ】 現在、どのくらい働いていますか。（○は1つ） 1. 週30時間以上 2. 週20時間以上週30時間未満 3. 週20時間未満 4. その他（ ）	R4のとおり	就労に関する実態を把握し、就労促進施策等への活用を見込むため。
				○	問45-4	【問45で「6. 求職中」の方のみ】 今後、どのくらい働きたいですか。（○は1つ） 1. フルタイム（正社員） 2. 週30時間以上 3. 週20時間以上週30時間未満 4. 週20時間未満 5. その他（ ）	R4のとおり	就労に関する実態を把握し、就労促進施策等への活用を見込むため。

分野	R7				設問		事務局の検討結果	検討内容
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問		
						取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	
8. たすけあいについて	○		○		問46	あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。（○はいくつでも） 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記
	○		○		問47	反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。（○はいくつでも） 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記
	○		○		問48	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。（○はいくつでも） 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記
	○		○		問49	反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。（○はいくつでも） 1. 配偶者やパートナー（内縁を含む） 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない	原案から修正（R4のとおり）	「パートナー」という表現を追記
		○			問50	家族や友人・知人以外で、 心配事や病気など 何かあったときに相談する相手を教えてください。（○はいくつでも） 1. 自治会・町内会・老人クラブ（シニアクラブ） 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他 7. そのような人はいない	R4から修正	委員の意見を受け、設問文を修正しました。
		○			問51	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。（○は1つ） 1. 0人（いない） 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上	原案のとおり	
				○	問52	地域包括支援センター（※）（愛称：まるけあ）を知っていますか。（○は1つ） ※高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・保健・医療・福祉サービスを一体的に支援する機関で、市内に計30か所に設置されています。 1. 知っている 2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない 3. 地域包括支援センターの存在を知らない	R4のとおり	地域包括支援センターの認知度は「静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」の成果指標の一つであるほか、効果的な周知方法の検討材料とするため。
				○	問52-1	【問52で「1. 知っている」または「2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の方のみ】 地域包括支援センターをどこで知りましたか。（○はいくつでも） 1. 市ホームページ 2. 広報しずおか「静岡気分」や静岡市のパンフレット 3. 医療機関からの紹介 4. 保健福祉センターからの紹介 5. 家族・友人・知人からの紹介 6. 地域包括支援センターから直接連絡や訪問を受けて 7. 民生委員や自治会・町内会の役員等からの紹介 8. 地区社会福祉協議会やボランティアからの紹介 9. 地域の集まり（S型デイサービスなど）で 10. その他（ ）	R4から修正	地域包括支援センターの認知度は「静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」の成果指標の一つであるほか、効果的な周知方法の検討材料とするため。 委員の意見を受け、選択肢3、5を追加しました。
				○	問52-2	【問52で「1. 知っている」または「2. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の方のみ】 あなたのお住いの地域を担当する地域包括支援センターがどこにあるか知っていますか。（○は1つ） 1. 知っている 2. 知らない	R4のとおり	地域包括支援センターの認知度は「静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」の成果指標の一つであるほか、効果的な周知方法の検討材料とするため。
				○	問53	「高齢者虐待」を発見したときに、どのような機関に相談・通報等しますか。（○はいくつでも） 1. 市役所や区役所の窓口 2. 保健所や保健福祉センター 3. 地域包括支援センター 4. 民生委員 5. 自治会・町内会の役員等 6. 家族・親戚・知人 7. 警察 8. その他（ ） 9. 相談しない・できない 10. わからない	R4のとおり	高齢者虐待に関する相談先の実態を把握し、対応策を検討するため

分野	R7				設問			事務局の検討結果
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）	
9. 健康について	○		○		問54		現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ） 1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除
				○	問55		健康に関することをなんでも相談できるような、身近で頼りになる医師（かかりつけ医）はいますか。（○は1つ） 1. いる 2. いない	R4のとおり
	○		○		問56		あなたは、現在どの程度幸せですか。（○は1つ）（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください。） とても不幸 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 とても幸せ	原案のとおり
	○		○		問57		この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり
	○		○		問58		この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり
		○			問59		お酒は飲みますか。（○は1つ） 1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない	原案のとおり
	○		○		問60		タバコは吸っていますか。（○は1つ） 1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない	原案のとおり
	○		○		問61		現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも） 1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症（脂質異常） 7. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎・気管支炎等） 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓（腎疾患（透析含む）など）・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等） 11. 外傷（転倒・骨折等） 12. がん（悪性新生物） 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症（アルツハイマー病等） 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他（ ）	原案から修正
			○		問62		あなたは、ご自分の健康のためにどのようなことを心がけていますか。（○は3つまで） 1. 休養や睡眠を十分にとる 2. 食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど） 3. 歯や口の中を清潔に保つ 4. 健康診断などを定期的に受ける 5. 酒、タバコを控える 6. 散歩やスポーツをする 7. 地域の活動に参加する 8. 教養や学習活動などの楽しみを持つ 9. 気持ちをなるべく明るく持つ 10. 身の回りのことはなるべく自分で行う 11. 仕事をする 12. その他（ ） 13. 特に心がけていない	原案のとおり
			○		問63		あなたは、健康について、どのようなことが知りたいですか。（○は3つまで） 1. がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について 2. 望ましい食生活について 3. 運動の方法について 4. 健康診断・各種検診の内容や受け方などについて 5. 寝たきりや介護の予防について 6. 歯の健康について 7. 認知症の予防について 8. うつ病の予防について 9. その他（ ）	原案のとおり

分野	R7				設問			事務局の検討結果	検討内容
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）		
				○	問64		過去1年間に健康診断を受診しましたか。（○は1つ） 1. 受けている 2. 受けていない	R4から修正	特定健診・後期高齢者健診の受診率が低いことから、未受診の理由を分析することで、受診につなげるため委員の意見を受け、設問文を修正しました。
				○		問64-1	【問64で「2. 受けていない」の方のみ】 受けていない理由は何ですか？（○はいくつでも） 1. かかりつけ医に通院している。 2. 健康診断の受け方がわからない。 3. 病院にいきたくない。 4. 高齢なので受ける意味がない。 5. あちこち悪いことは自覚しているから。 6. これといった症状がなく、受診の必要性を感じない 7. その他（ ）	R4から修正	特定健診・後期高齢者健診の受診率が低いことから、未受診の理由を分析することで、受診につなげるため 委員の意見を受け、選択肢6を追加しました。
				○	問65		静岡市には高齢者を対象として介護予防の運動、サークル活動や各種教養講座を実施している施設である老人福祉センター、老人憩の家や世代間交流センターがありますが、これらの施設を利用したことがありますか。 ※（老人福祉センター）鯨ヶ池、長尾川、小鹿、用宗、清水中央、船越、折戸、蒲原（老人憩の家）清開きらく荘、東部（世代間交流センター）北部、南部、由比 1. 日常的に利用している 2. 利用したことがある（数回程度） 3. 知っているが利用したことはない 4. 知らない 5. 知らなかったが興味がある	R4のとおり	老人福祉センター等の利用状況を把握し、今後の施設管理計画等に活用するため
10. 認知症について	○		○		問66		認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
	○		○		問67		認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は1つ） 1. はい 2. いいえ	原案のとおり	
				○	問68		認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」を知っていますか。（○は1つ） 1. 知っている 2. 知らない	R4のとおり	かけこま치의認知度及びかけこま치의関与度の他項目への影響を把握したいため
			○		問69		あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。（○は1つ） 1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない 4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない	追加	県調査項目として、追加
11. 介護保険サービスについて				○	問70		もし、あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。あなたの考えに近いものに○を付けてください。（○は1つ） 1. なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい 2. 介護サービスを使いながら自宅で介護してほしい 3. 介護施設などに入所・入居したい 4. 要介護度が重度化したら介護施設等への入所・入居を検討したい 5. その他（ ） 6. わからない	R4のとおり	介護に関する意識を把握し、在宅医療・介護連携推進施策での活用を見込むため
				○	問71		もし、あなたの家族に介護が必要となった場合、どのような介護をしたいと思いますか。あなたの考えに近いものに○を付けてください。（○は1つ） 1. なるべく家族のみで、自宅で介護したい 2. 介護サービスを使いながら自宅で介護したい 3. 介護施設などに入所・入居させたい 4. 要介護度が重度化したら介護施設等への入所・入居を検討したい 5. その他（ ） 6. わからない	R4のとおり	介護に関する意識を把握し、在宅医療・介護連携推進施策での活用を見込むため

分野	R 7				設問			原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	事務局の検討結果
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	取消線：原案からの変更点（削除） 下線：原案からの変更点（追加）		
				○	問72		在宅での介護を続けるために、特に必要だと思うことは何ですか。（○はいくつでも） 1. 家族や親族の協力があること 2. 近所の人やボランティアに手伝いを頼めること 3. 日頃から本人が心身の衰えを防ぐ介護予防を心がけること 4. 介護者同士が交流できる場で心身のリフレッシュができること 5. 介護保険制度やサービス事業所等についての情報が得やすいこと 6. 介護全般についての身近な相談窓口があること 7. 介護用品（紙おむつ等）の支給があること 8. 緊急の場合等に安心して介護保険サービスが利用できること 9. 緊急の場合等にかかりつけ医等から医療的なアドバイスを得られること 10. 認知症についての身近な相談窓口があること 11. 認知症高齢者の徘徊等を地域で見守る体制の強化 12. 認知症の方を介護している方向けの講習会や講演会 13. 仕事と介護の両立を支える職場の理解・制度があること（介護休業・時短・在宅勤務など） 14. 介護保険外の生活支援サービスが利用しやすいこと（家事代行・買い物支援・送迎など） 15. その他（具体的に） 16. 特になし	R4から修正	介護に関する意識を把握し、在宅医療・介護連携推進施策での活用を見込むため 委員の意見を受け、選択肢13、14を追加しました。
12. 今後の暮らしについて				○	問73		あなたは、高齢期を快適に暮らすためには、どのような施策が重要だと思いますか。（○はいくつでも） 1. 雇用・就業機会の確保 2. 生きがいづくり、社会参加活動の推進 3. 暮らしやすいまちづくり（段差の解消やわかりやすい標識の設置など） 4. 交通手段の充実 5. 高齢者に配慮した住宅の整備 6. 病院や診療所などの医療機関の充実 7. ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実 8. 特別養護老人ホーム等の施設の整備 9. 健康づくりに対する支援 10. 虐待防止や財産の保全を含めた高齢者の権利を守る対策 11. 生活相談窓口の整備、充実 12. 身近な地域による見守り・支え合い活動の推進 13. 子どもとのふれあいなどの世代間交流の促進 14. 寝たきりや認知症にならないための予防対策 15. その他（	R4から修正	高齢期を快適に暮らすうえでのおおまかなニーズを把握し、市の施策につなげるため 委員の意見を受け、選択肢4を追加しました。
				○		問73-1	【問73で「11. 身近な地域による見守り・支え合い活動の推進」の方のみ】 具体的にどのような施策が必要だと思いますか。（○はいくつでも） 1. 定期的な訪問 2. 地域の高齢者が集まる場 3. 話し相手 4. 掃除、ゴミ出しなどの生活援助 5. 買物の支援 6. その他（	R4のとおり	圏域とのクロス集計により、圏域ごとの地域の支え合い施策に関するニーズを把握し、生活支援体制整備等における活用を見込むため。
				○	問74		万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。（○は1つ） 1. 病院などの医療施設 2. 高齢者向けのケア付き住宅 3. 自宅 4. 特別養護老人ホーム、認知症グループホームなどの福祉施設 5. 子どもの家 6. 兄弟姉妹など親族の家 7. その他（） 8. わからない	R4のとおり	A C Pや終末期医療等に係る施策を検討していく上で参考とするため。
				○	問75		万一、あなたの家族が治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎させてあげたいですか。（○は1つ） 1. 病院などの医療施設 2. 高齢者向けのケア付き住宅 3. 自宅 4. 特別養護老人ホーム、認知症グループホームなどの福祉施設 5. 子どもの家 6. 兄弟姉妹など親族の家 7. その他（） 8. わからない	R4のとおり	A C Pや終末期医療等に係る施策を検討していく上で参考とするため。
				○	問76		孤立死（誰にも看取られることなく、なくなった後に発見される死）について、身近な問題だと感じますか。（○は1つ） 1. 身近な問題だと思う 2. やや身近な問題だと思う 3. どちらともいえない 4. あまり身近な問題だとは思わない 5. 身近な問題だとは思わない	R4のとおり	終活に係る市民意識を把握するため

分野	R7				設問		事務局の検討結果	検討内容
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問		
							原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	
							削除	県調査項目の内容が変更されたため、削除。 代わりに問77を追加。
							削除	県調査項目の内容が変更されたため、削除。 代わりに問77を追加。
							削除	問77で代替可能であるため、削除
			○		問77		追加	県調査項目の内容が変更されたため追加。
				○	問78		追加	令和7年度から終活に関連する事業を新たに取り組んでおり、今後の施策に反映させるるため。
				○	問78-1		追加	令和7年度から終活に関連する事業を新たに取り組んでおり、今後の施策に反映させるるため。
				○	問79		追加	令和7年度から終活に関連する事業を新たに取り組んでおり、今後の施策に反映させるるため。

分野	R7				設問		事務局の検討結果	
	国必須	国オプション	県	市	問	枝問	原案のとおり 原案から修正 原案から修正（R4のとおり） R4のとおり R4から修正 追加 削除	検討内容
						(問80) あなたは認知症等で判断能力が不十分になった場合や死が近い場合に備えて、どのように意思表示をしたいと思いますか。又は、これからしようと思いますか。（○はいくつでも） 1. 口頭で家族に伝える 2. 文字で家族に伝える（文字やエンディングノートなど） 3. 生前事務委任契約（※1）を結ぶ 4. 任意後見契約（※2）を結ぶ 5. 死後事務委任契約（※3）を結ぶ 6. 負担付遺贈・負担を付けた遺言（※4）を作成する 7. その他（ ） 8. 必要性は感じるが、決めていない 9. まだ考えていない ※1 生前事務委任契約とは、生前判断能力が十分にあるうちから、日常生活をサポートしてもらったり、入院や施設入居の際に身元保証人になってもらったりするものをいいます。 ※2 任意後見契約とは、認知症により判断能力が衰えてきた場合に、あらかじめ契約により代理権が与えられた範囲で、本人に代わって法律行為を行うことができるようにするものをいいます。 ※3 死後事務委任契約とは、葬儀の実施等の死後事務を委任する契約のことをいいます。 ※4 負担付遺贈・負担を付けた遺言とは、死後に財産を相続する代わりに、一定の義務（誰かの面倒を見る等）を負担させるものをいいます。	削除	終活に係る市民意識を把握する項目だが、問78、79で代替可能であるため。
						高齢者の保健や福祉に関することで、市にご意見、ご要望等がございましたら、自由にお書きください。	削除	本調査は、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握し、地域の課題を特定して次期計画に反映するために実施する。このことから、設問は具体化された質問を中心に構成し、クロス集計などの分析により課題を明確化できる形式とするため。 なお、次年度の計画策定時にパブリックコメントを実施し、次期計画案に対して市民へ意見を伺う予定。

○の数

42214834

計145

42

問数	42	21	6	34	計	103
----	----	----	---	----	---	-----

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

委員からの調査項目(案)に対する御意見、御要望等(事前調査)

資料3

問	御意見、御要望等	対応案
2-2	選択肢の追加 「家族が必要ないと判断した」	前回調査では、選択肢「その他」の具体内容記載で左記の内容を回答をした方はいませんでした。そのため、今回調査においても「その他」の選択肢で対応します。
2-3	選択肢の修正 息子、娘を1つの項目に統合	国のオプション項目であり、国に集計結果を報告する必要があります。集計結果を他自治体と比較するため、選択肢の統合はできません。
5	選択肢の追加 「家周辺(庭等)の雑草」	選択肢を追加します。 「家の維持管理が大変(庭の手入れなど)」
6	選択肢の追加 「銀行、郵便局等の金融機関が遠い」	選択肢を追加します。 「暮らしに必要な施設が遠い(病院、福祉施設、銀行など)」
7	設問の削除 「いいえ」と答える人はごく少数では。問8-1に「必要を感じない」という選択肢があるので、「いいえ」と回答する人をこちらの問で把握できるのではないのでしょうか。	設問の削除はしないことといたします。 エアコンが熱中症対策に有効であることは、様々なところから周知され、一般的な知識として広まりつつあります。しかしながら、屋内での熱中症死亡者のうち、約9割はエアコン未使用・未設置であるというデータ(環境省)もあることから、一般的な知識と実際の認識度合いに乖離があるのではと考えます。この設問をとおして、その乖離の実態を把握できるのではと考えます。 また、エアコンが熱中症対策に有効であると知っていながらも、「この程度の暑さなら耐えられる」とエアコンの必要を感じず、利用しないケースも考えられます。
8-1	①選択肢1「エアコンが苦手」 エアコンの操作が苦手という意味にもとれてしまうので、「エアコンによる温度調節が体に合わないため」や「エアコンの風や温度が体に合わないため」などの言い回しがあってもよいかと思いました。 ②選択肢の追加 「家族が使用しない」	①選択肢の内容を修正します。 「エアコンの風や温度が体に合わないため」 ②選択肢を追加します。 「同居人が使用しない」
15	選択肢の追加 「変わらない」	国及び県の必須項目であり、それぞれに集計結果を報告する必要があります。集計結果を他自治体と比較するため、選択肢の増加はできません。

問	御意見、御要望等	対応案
15-1	①選択肢の追加 「体力や疲れやすさ」 外出が減っている理由に、「体力」や「疲れやすさ」といった疾患、病気由来以外の身体的理由があっても良いかと思います。 ②選択肢の追加 「異常な暑さのため(熱中症が不安)」 季節が限定され選択肢としてふさわしくないかもしれませんが、今年の夏は「あまりに暑く出かけられなかった」という声をよく聞いたので。 ③「コロナウィルス感染予防のため」の選択肢を削除するようですが、5類に移行したとはいえ、まだ感染する人もいし、インフルエンザ感染もあるので、「感染症予防のため」として残してもよいと思います。	①選択肢の追加はしないことといたします。 前回調査では、選択肢「その他」の具体内容記載で「体力の衰え」と回答した方は13人程度でありました。当該理由の回答者が少ないため、今回調査においても「その他」の選択肢で対応します。 ②選択肢を追加します。 「異常な暑さのため(熱中症が不安)」 ③選択肢を再度追加します。 「感染症予防のため」
16	選択肢の追加 「スポーツ」	選択肢の追加はしないことといたします。 回答者の負担軽減及び選択肢1と4に「スポーツ」の解釈が含まれていると考えたため。
50	設問文の修正 「何かあったとき」とはどのようなときであるのか、「病気、困りごと、不安、心配などの何かあった時」というように明確にしたほうが、回答しやすいと思います。	設問文を修正します。 「心配事や病気など何かあったとき」
52	設問文注釈の修正 「※高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう」を、「高齢者の方々が住み慣れた地域で1人でも安心して暮らしていけるよう」と高齢者に寄り添う文言表現にした方が調査としても、効果的な周知方法の1つとなると考えます。	修正はしないことといたします。 「1人でも」を追加した場合、身元保証を行うという誤解を招くおそれあるため。
52-1	選択肢の追加 「医療機関からの紹介」 「家族・友人・知人からの紹介」	選択肢を追加します。 「医療機関からの紹介」 「家族・友人・知人からの紹介」
53	設問文の修正 「高齢者虐待」の虐待内容の例を挙げた方が、分かりやすく、身近に起こっている場合にも相談、通報等に繋げ易くなると考えます。	修正はしないことといたします 例を挙げることで、「高齢者虐待」の解釈の範囲が狭まってしまうおそれがあるため。回答者本人が「高齢者虐待」だと考える行為を「高齢者虐待」と捉えることとします。

問	御意見、御要望等	対応案
55	「かかりつけ医」の定義 健康に関することをなんでも相談できるような、身近で頼りになる医師(かかりつけ医)とありますが、回答者は「かかりつけ医」の定義に迷うのではないのでしょうか。定期的に健康状態を把握してもらっているが、なんでも相談できていない、そんなには身近に感じていない医師の場合は、どう判断したらよいのでしょうか。 市としては、どこまでを「かかりつけ医」としているのでしょうか。	どのような医師が「かかりつけ医」かは、患者さんによってさまざまであるかと考えます。あくまで、「この医師は私のかかりつけ医だ」と思えるような医師がいるかどうかを問う設問だと認識していただきたいです。 ↓日本医師会の定義 健康に関することをなんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師
64	設問文の修正 「健康診断を受診している」のは、いつごろまでを含むのかが分かりにくいと思いました。 例えば昨年健診を受けたけれど今年は受けていない場合もあるかと思しますので、「過去1年のうちに受けたか」「毎年受けているか」といったような質問の方が答えやすいかと思いました。	設問文を修正します。 「過去1年間に健康診断を受診しましたか」
64-1	選択肢の追加 「これといった症状がないから」 健康だと思っている方が一定数いると考えます(健康なうちは行かない)。	選択肢を追加します。 「これといった症状がなく、受診の必要性を感じない」
71、75	家族についての質問ですが、1人暮らしの人はどのように回答したらよいでしょうか。	「家族」には、同居していない家族を含むため、そのような方々を「家族」として捉えて回答していただきたいと思います。
72	①在宅介護を続けるために必要なことについて、最近の動向として、仕事と介護の両立が必要な介護者が増えていると聞きます。会社や勤務先の理解・協力・支援(介護離職防止施策)が必要だったり、介護保険サービスでは対応できない家事代行や外出支援などのサービスも増えており、これらのことも、在宅介護を続けるために今後必要になってくると感じています。 ②選択肢の修正 「11. 認知症高齢者の徘徊等を地域で見守り及びGPSの配布・貸出等による体制の強化」	在宅介護(No.47)と同じ項目 ①選択肢を修正します。 「仕事と介護の両立を支える職場の理解・制度があること(介護休業・時短・在宅勤務など)」 「介護保険外の生活支援サービスが利用しやすいこと(家事代行・買い物支援・送迎など)」 ②選択肢の追加はしないことといたします。 選択肢が長くなることを避けること、及び「GPSの配布・貸出」という具体的な手段は元の選択肢の内容に含むため。

問	御意見、御要望等	対応案
73	選択肢の追加 高齢期を快適に暮らすために重要なこととして、交通施策は欠かせないと思います。	選択肢を追加します。 「交通手段の充実」
73-1	選択肢の追加 「日々の新聞配布と配達員の協力」 (1. 定期的訪問に含まれる?)	選択肢の追加はしないことといたします。 ご意見の括弧書きのとおり、選択肢1に含まれるため。
74	高齢者向けのケア付き住宅は住宅型有料も含まれるのか。	含みます。
80	終活についての市民意識を把握するための設問ですが、※印の説明がたくさんあり、説明しなければ回答を得られない状態なのではないでしょうか。 まだ市民に認知されていない状態なら、意思表示の方法を知っているか?というような認知度を問う質問では市民の意識を把握できませんか。 この質問の前に、自身の判断能力不十分の際の意思表示の実施の有無について ・伝えたい ・決めていない ・考えていない など聞いてみたら、と思いました。	問80の設問自体を削除することといたしました。 説明書きが必要な専門用語が多く記載されていることで、回答者の負担になることのほか、問78で意思表示を含む終活についての意識を把握できると考えたため。
	①全体に文字数が多く、回答者に負担感があるのではと感じました。 ②その中で前回調査の回答率や有効回答率が高いことに驚きました。実施にあたっての工夫や努力があったことと思います。今回の調査でも有効な回答を得るための対策はありますか。	①設問数(文字数)が多いことは認識しておりますが、国や県の必須項目が多い中、市としても設問数を絞ったうえでの現在の設問数となっております。 ②実際に送付する調査票は、A4サイズの小冊子のような形式で文字のサイズも大きくします。

問	御意見、御要望等	対応案
	設問の追加 「高齢者はどのような企画に興味をもっているのか」 退職後の男性高齢者、閉じこもりがちの第二の人生を送る人に手立てがないものか？ 昔でいう企業戦士が定年後はゆっくと過ごしたい、衆目になります。数年はのんびりしたいが、その後社会へ出ようと思います。しかし、面倒になったり、何をいまさら、特にやりたいこともない、世間に出かけて人と接するなんて、一人でいても大丈夫、等と思う高齢者が多いように感じます。 積極的に外出し、人と接することで事故健康管理をし、フレイル予防、または認知症予防にもつながります。まさに「しずおかちゃちゃちゃ」は高齢者の居場所づくりの課題として事業化されたと思っています。 様々なイベントへ自由気ままに参加できるような、または楽しめる行事ならもっと参加者増加につながります。ほんの小さなグループ、有志だけで集まる麻雀、囲碁・将棋の集まり等遊びのイベント、募集内容で楽しめる・楽しそうと想像できるものの計画。自治会のイベントでも楽しそうなら参加者の増加が期待できます。健康を維持するために運動になるイベントの企画も。 楽しく参加できそうなものを企画する前に、そんな高齢者のためにどんな企画に興味を持つ等のアンケートを取ることも必要と思います。 元気な高齢者が増えれば、福祉関係の予算も削減できるかもしれません。 静岡市が男性高齢者の画期的な居場所づくりの実践、モデルケースになることを期待いたします。	設問の追加はしないことといたします。 現在、常葉大学と協力し、65歳以上の高齢者や介護保予防事業を委託している企業、関係者等にどのような企画に興味を持つのか聞き取りを行っており、聞き取り内容は、今後の施策に反映していきます。 そのため、本調査では設問には追加しないことといたします。

高齢者保健福祉計画（老人福祉計画）

冊子 p3～5

計画概要

- ・市内において確保すべき老人居宅生活支援事業及び老人福祉施設による事業の量の目標、またそれらの量を確保するための方策に関する事項を定める。（老人福祉法第20条の8）
- ・介護保険事業計画と一体のものとして作成するため、三年を一期として、計画を作成する。（老人福祉法第20条の8 第7項、介護保険法第117条）

静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画との関係

「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を核に策定。
→2つの計画は、まちづくり計画に包含されている。

健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画



市のお計画とも整合を図る

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
まちづくり計画	健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画（R5～12年度） →						
高齢者保健福祉計画	第10期 第9期		中間 見直し	第11期 第10期		一部改訂	12期 11期
介護保険事業計画							

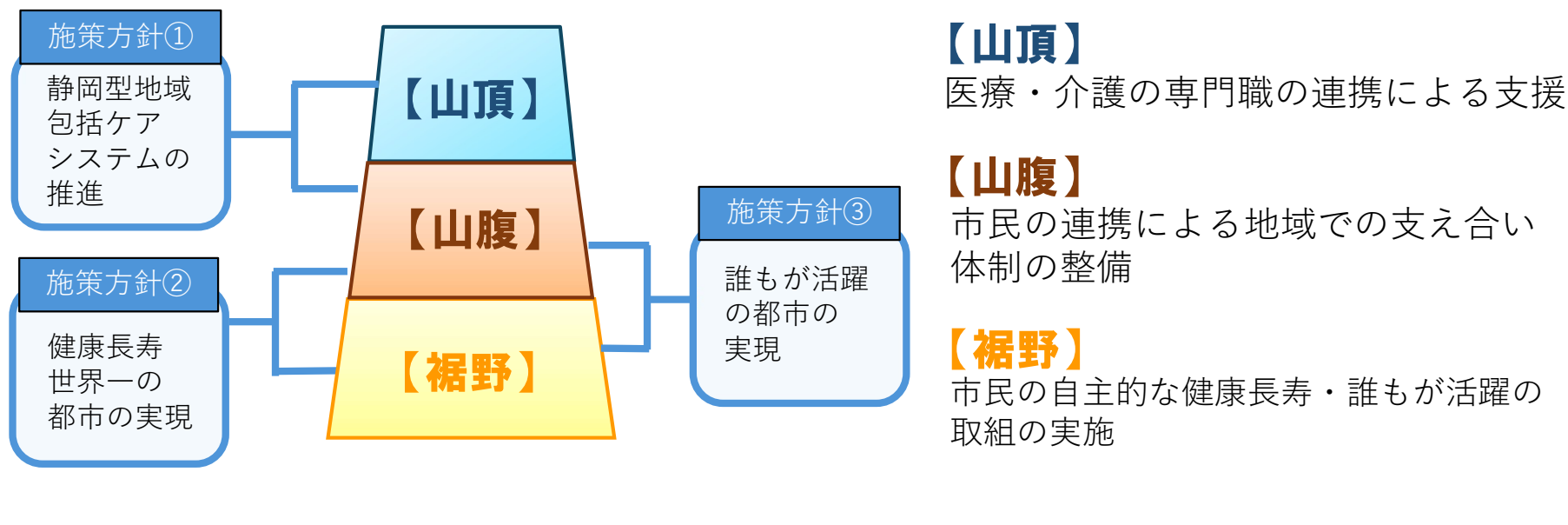
《用語の説明》

アウトプット：取組によって、市が作り出した「成果物」や「活動」

アウトカム：市民や社会にもたらした具体的な成果
(市民や社会にどのような利益・便益がもたらされたのか)

1. 《アウトプット指標》 各取組の実施

2. 《小アウトカム指標》 「山頂」「山腹」「裾野」ごとの指標 ※指標内容は冊子P19の表のとおり



3. 《アウトカム指標》 施策方針ごとの指標

※指標内容は冊子P20の表のとおり

課題：各取組事業の成果指標が、「進捗状況を計りづらい指標」で設定されている取組事業がある。



「どのような成果指標であれば、
それぞれの事業の進捗が分かりやすいものになるのか」

例

事業名	事業内容
ねんりんピック 選手派遣事業	高齢者のスポーツ（文化種目）の祭典である「ねんりんピック」に、本市の代表選手団を派遣し全国の選手と交流することで、元気と生きがいを持ち、生き生きと過ごす長寿社会を目指す活力としていく。

< 現指標 >

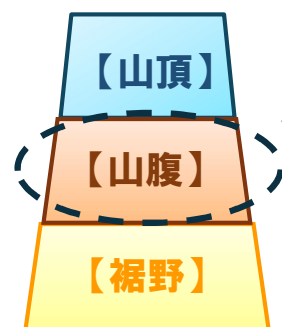
指標内容	実績
派遣の実施	実施

「実施」という指標では、
進捗の変化が読み取れない。

< 整理後の指標（案） >

指標内容	実績
例 1 派遣人数	〇〇人
例 2 スポーツを通じて、 生きがいを持てた と感じた人の割合	〇〇%

人数や回数、満足度など数値で
表せる指標に置き換える。
数値が大きいからといって、
高評価につながるとは限らない
事業もある。その体制が確保さ
れていること自体が評価される
べき事業もある。
（例：緊急通報体制整備事業の
緊急通報数 資料 5 No. 2）



「健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」の掲載事業のうち、
高齢者保健福祉計画の範囲でもある、高齢者福祉課が所管する事業を抜粋しました。
・・・資料 5 のとおり

●資料 5 の事業の成果指標について、どのような指標が進捗管理するうえで
ふさわしいか、それぞれの所属団体や現場の視点から、ご意見をいただき
たく存じます。

「静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」掲載事業（高齢者福祉課所管事業を抜粋）

「活動指標」「目標値」等はあくまで、指標内容について協議していただく上での参考案であり、この値を目標に実際に事業を進めるとは限りません。

資料5

No	事業名	事業内容	現指標		事務局案		
			指標内容	目標値	指標内容	指標設定根拠	目標値
＜山腹＞市民の連携による地域での支え合い体制の整備							
(1)介護予防							
1	難聴高齢者早期発見・支援事業	高齢者難聴は認知症の危険因子の一つとされており、うつ、社会的孤立等との関連も指摘されている。65歳以上を対象に、市内各所での「聞こえの確認の会」の実施、「聞こえ」に不安がある方に対する医療機関等への受診勧奨、さらに、その後のフォローアップを一体とした、高齢者の難聴対策を実施する。また、本事業参加者を対象とした補聴器購入費助成の試行実施を行うことで、高齢者の社会参加促進や認知症予防に繋がります。	早期発見と早期支援の取組 本事業参加者を対象とした補聴器購入費助成の試行実施	20会場での開催 実施 (50人程度)	「聞こえの確認の会」にて行う聞こえのチェックの前 後で、聞こえに対する認識 が変わった人の割合	R5年に国が行ったモデル事業の実績値を基に算出した。	70%
(2)生活支援・見守り							
2	ひとり暮らし高齢者等緊急通報体制整備事業	ひとり暮らし高齢者世帯の緊急事態に迅速に対応するため、緊急救命通報装置、火災報知器、ガス漏れ警報器の3点を自宅に設置し、緊急時には委託した警備会社が駆け付け等の対応を行うことで、24時間、365日、在宅で生活する方々の不安の軽減と安心・安全な暮らしを確保します。	事業の実施	実施	対応率	通報への対応を確実に実施する必要があるため、目標値を100%とした。	100%
3	配食型見守り事業	日常的に食事の準備に支障がある高齢者を対象に、事業者がその居宅に食事を配達し、安否を確認します。	延べ見守り回数	188,600回	見守りの実施率	利用者に対して確実に見守りをする必要があるため、目標値を100%とした。	100%
4	理容・美容サービス事業	介護保険で要介護3以上の認定を受け、寝たきり等の理由で外出が困難な高齢者に対して、年2回を限度として理容師又は美容師が訪問し、理美容サービスを提供します。	実施 (利用者数)	実施 (300人)	申請に対するサービスの提供率	利用者に対して確実にサービスを提供する必要があるため、目標値を100%とした。	100%
5	はり・きゅう・マッサージ施術費助成制度	75歳以上の高齢者に対して、健康の保持を図るため、はり・きゅう・マッサージ施術費の一部を助成します。	交付者数	2,500人	申請に対する助成券の交付率	利用者に対して確実に助成券を交付する必要があるため、目標値を100%とした。	100%
6	高齢者紙おむつ支給事業	低所得者世帯に属する65歳以上の在宅高齢者で、要介護4以上又は特に排泄機能に支障があり、紙おむつが必要な要介護1～3の方に紙おむつ引換券を支給し、在宅高齢者の安らかな生活の確保と、介護者の経済的負担の軽減を図ります。	適切な支給の実施 (支給見込人数)	実施 (1,600人)	申請に対する紙おむつ券の支給率	利用者に対して確実に紙おむつ引換券を支給する必要があるため、目標値を100%とした。	100%
7	高齢者生活支援ショートステイ事業	介護保険で非該当の認定を受け、介護保険サービスを受けられない高齢者が、日常生活を営むのに不安がある時、一時的に養護老人ホームに宿泊させ、入浴、食事、日常生活訓練等を行います。	事業の実施	実施	支援の実施率	支援対象となる高齢者を確実に支援する必要があるため、目標値を100%とした。	100%
8	高齢者生活福祉センターの運営	山間部において、介護機能、居住機能、交流機能等を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れることを目的として運営します。	利用者満足度	90%	利用者満足度	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画と合わせ、利用者満足度95.0%を目標値とした。	95%
9	シルバーハウジング生活援助員派遣事業	シルバーハウジングに、生活援助員を派遣し、入居者に対し、一時的な生活指導、相談、安否確認、緊急時の対応等のサービスを提供します。	事業の実施	実施	生活援助員によるシルバーハウジング棟入居世帯の確実な見守り率	全世帯に対して確実に見守りをする必要があるため、目標値を100%とした。	100%
10	外国人高齢者福祉手当支給制度	1932年(昭和7年)4月1日以前生まれで、永住許可を受け、公的年金を受給していない外国人高齢者に対し、手当を支給します。	適切な支給の実施 (支給見込人数)	実施 (3人)	対象者に対しての支給率	支給対象人数が事前に把握できないため、支給要件を満たす者全員に支給することを目標とした。	100%

「静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」掲載事業（高齢者福祉課所管事業を抜粋）

「活動指標」「目標値」等はあくまで、指標内容について協議していただく上での参考案であり、この値を目標に実際に事業を進めるとは限りません。

資料5

No	事業名	事業内容	現指標		事務局案		
			指標内容	目標値	指標内容	指標設定根拠	目標値
(3) 生きがい・社会活動							
11	シニアクラブ運営支援	高齢者の生きがいと健康づくり、活発な社会参加への機会として、地域の高齢者によって組織されている単位シニアクラブの活動を支援します。また、静岡市の単位シニアクラブをとりまとめている静岡市老人クラブ連合会の事業、運営を支援します。	会員数	11,000人	①単位老人クラブ数 ②老人クラブ会員数	①単位老人クラブの数は減少傾向にあるため、前年度実績を維持することを目標とした。 ②老人クラブの会員数は減少傾向にあるため、前年度実績を維持することを目標とした。	①311クラブ ②11,000人
12	シルバー人材センターの運営支援	60歳以上の高齢者に対して、臨時的、短期的な就業の提供を行うシルバー人材センターの運営を補助します。	会員数 就業実人数	2,910人 2,360人	会員数 就業実人数	シルバー人材センターが定めている数値を目標値とした。	2,910人 2,360人
13	ねんりんピック選手派遣	高齢者のスポーツ(文化種目)の祭典である「ねんりんピック」に、本市の代表選手団を派遣し全国の選手と交流することで、元気と生きがいを持ち、生き生きと過ごす長寿社会を目指す活力としていきます。	代表選手団派遣の実施	実施	スポーツを通じて、生きがいを持ってたと感じた人の割合	派遣人数枠数は、開催県の規定により前後するため、ねんりんピック参加者の意識を指標にすることで、生きがいづくりの達成度合いを計る。	90%
14	老人福祉センターの運営	地域の高齢者に健康の増進、教養の向上、レクリエーション等の場を提供し、各種相談に応じる老人福祉センターを運営します。(8館:鯨ヶ池、用宗、長尾川、小鹿、清水中央、清水船越、清水折戸、蒲原)	利用者満足度	90%	利用者満足度	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、利用者満足度90.0%を目標値とした。	90%
15	老人憩の家の運営	地域の高齢者に教養の向上、レクリエーション等の場を提供し、心身の健康増進を図るため、老人憩の家を運営します。(2館:東部老人憩の家、清開きらく荘)	利用者満足度	90%	利用者満足度	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、利用者満足度90.0%を目標値とした。	90%
16	世代間交流センターの運営	高齢者のふれあいと憩い、世代間の交流を図るための場である世代間交流センターを運営します。(3館:清水北部、清水南部、由比)	利用者満足度	90%	利用者満足度	すでに一定の評価を得ている利用者満足度を今後も維持するため、利用者満足度90.0%を目標値とした。	90%
(4) 住まい							
17	軽費老人ホームの運営支援	高齢のため独立して生活するには不安があり、家族の援助を受けることが困難な高齢者が、低額の料金で入所できる軽費老人ホームの事務費を補助します。(定員:7施設430名)	補助の実施	実施	施設の受入可能居室430人分の確保率	入所者の福祉の増進のためには、施設の居室がすべて受け入れ可能である必要があるため、目標値を100%とした。	100%